

コメラボ ～空き家発ニュー米作りムーブメント～

■コンセプト

薩摩川内市高江町は江戸時代前期の治水工事に伴い作られた水田が多く残る米処。しかし、近年では人口減少・高齢化に伴い、空き家の増加や水田農業の人手不足が課題となっている。

そこで提案するのが『コメラボ』。

高江町の元農家であった空き家に若手からベテランの米農家が集まり、

『安心安全でおいしいお米を日本中に』をミッションとした**米作り研究の拠点**＝コメラボとして活用する。

米作り技術継承、気候変化・獣害に対応した米作りの新技術開発、新技術の市外・県外へ発信することで、高収益化や人手不足解消を図り、持続可能な米農家の在り方を確立し、ひいては農業を主要産業とする地域の空き家問題を解決したい。

■活用イメージ

(1) 高江町の元農家の空き家をリノベーション

- 既存の馬屋を拡張し、農機具置き場や作業場として利用。
- 居住部分は打ち合わせや休憩の場として利用。土間や縁側を活用して、作業の合間にも使いやすい作りに。



馬屋利用時のイメージ



縁側利用時のイメージ

(2) 米農家の知識・経験・技術の体系化と実践・改良

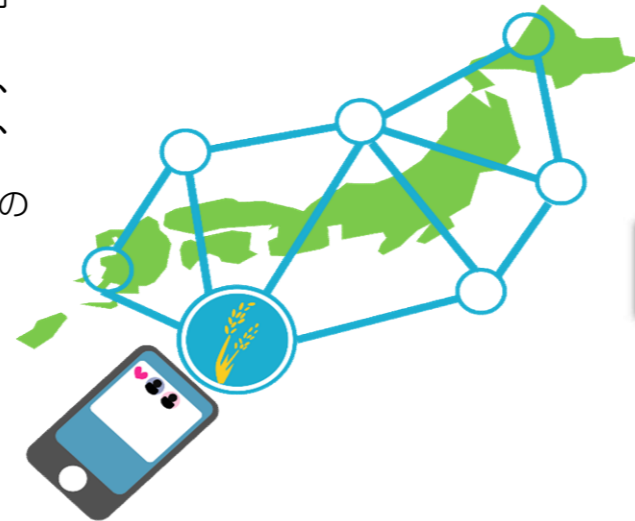
- 若手・ベテランが共同で米作りを実践。ベテランから米作りに関する知識・経験・技術を引き出し、マニュアルやwikiとして体系化を図る。
- 若手を中心に体系化した技術を実践。研鑽しあえるよう若手+ベテランのチーム対抗で収穫量等を競う形式としても可。
- 近年著しい気候変化（気温上昇やゲリラ豪雨など）や獣害等に対応すべく、新たな技術や施策を開発する。



米作り実践時のイメージ

(3) 新たな技術や取り組みについて発信

- 従来台風の被害が少なかったが近年異常に被害増加した水田農業地域へ、米作りにおける台風対策を教示するなど、新旧の技術や取り組みをSNS等で発信。
- 加えて、オンライン講義や現地へ赴いての出張授業等、学びの市場へ参入して米農家の高収益化を図る。



SNS発信時のイメージ

(4) 農業を主要産業とする地域の空き家へ水平展開

- 本ケースをモデルとして、特に農業を主要産業とする地域を対象に空き家活用事例を水平展開。
- 全国の農業地域の空き家問題解決、農業の担い手不足解消を図る。



水平展開のイメージ

■地域への期待効果

- 実働が難しいベテラン農家の**収入源を確保**できる。
- 知識・経験が未熟な若手農家をサポートし、収穫の安定化＝**収入の安定化**を早期実現できる。
- これから日本全国の米農家が直面するであろう問題（気候変化・獣害等）への対策をいち早く構築でき、農家の学びの市場へ参入することで**高収益化**が見込める。
- 農業最先端の地位を確立できれば農機具メーカーとの共同研究・開発等の誘致も期待できる。
- これらにより**持続可能な米農家の在り方を確立**することが期待できる。
- 農業地域にある空き家の活用事例として水平展開することにより、日本全国の農業地域の空き家問題解決、農業の担い手不足解消を図れる。